

4 . 計画素案の概要に寄せられた意見

都市計画マスタープラン素案について、全体構想の概要はリーフレットを作成し全戸配布、地域別構想の概要は広報紙に掲載して、広く公表するとともに意見を募集しました。

以下に、計画素案の概要に寄せられた意見及び本計画の素案段階における考え方を示します。

なお、最終的には素案に対し、いただいたご意見や策定委員会、市内部の検討委員会、関係機関などとの検討や調整をふまえ、修正を行なっています。

1 . 計画素案の概要に寄せられた意見に対する考え方

都市計画マスタープランは、20年後の都市のあるべき姿を定めた「市町村の都市計画に関する基本的な方針」です。

ここでいう都市計画（法でいう都市計画）とは、比較的狭い意味での都市計画を指し、大きく市街化区域、市街化調整区域の区分や用途地域などを定める『土地利用』、道路・公園・下水道などの『都市施設』、区画整理事業などの『市街地開発事業』の3つからなります。

「北広島市都市計画マスタープラン」（以下、本計画）は、これらの都市計画の方針を明らかにするとともに、環境負荷の軽減、都市景観の形成、都市の防災化、まちづくりにおける高齢者や障がい者への配慮など都市計画上の新たな課題を取り込んだものとしています。

本計画策定後は、この基本的な方針に基づき計画が立てられ、都市計画事業などが実施されていくことになります。

また、本計画は、将来の都市づくりに向けた都市計画を進めるうえでの基本的な方向を示すという性格上、文化・教育・観光などの扱っていない領域もありますし、農業や福祉などの具体的な施策（農業の担い手、子育て支援、福祉サービスなど）や一部の個別施設等の整備（病院、プールなど）については、記述しておりませんが、関連して都市計画の面から取り組みがある場合には、関係部局と十分に連携をとり、その実現に向けて寄与していきたいと考えています。

2. 全体構想素案に対する意見

意見募集期間	平成15年4月1日（火）から4月15日（火）まで
募集方法	全体構想素案の概要についてのリーフレット（返信用はがき付き）を広報紙に折り込み、全戸配布。市のホームページにも掲載するとともに意見を募集。
意見提出者数	56名、意見数103（夫婦連名が2組あり）

理念に対する意見

意見等の概要	都市計画マスタープラン素案における考え方など
<p>都市構造は生活文化、各環境整備、健康都市が理念だと思えます。</p> <p>自然破壊をしないまちづくりをして欲しい。新しいものをつくるよりは、既存のものをもっと利用すべき。</p> <p>沢山の自然に囲まれて、静かな環境で暮らしています。これが北広島市の良いところだと思っています。便利さばかり求めて札幌のようになる必要はありません。</p>	<p>都市づくりの理念については、「個性あふれる地区を人びとの交流で結ぶ緑豊かな都市」と考えています。この内容には、各地区における健康な人びとの文化の薫り高い活動や各種の事業活動が活発に展開されていくことを含んでおり、これらの諸活動を支える環境の整備がなされていくことを前提としています。</p> <p>本市の特色として、多くの方が身近にある緑や田園風景をあげています。この特色を大切に、何よりも自然環境があって都市が存立するということが基本だと考えます。この両者の調和ある発展には、多くの課題がありますが、適切な市街地規模の開発整備と自然環境や農地の適切な保全に努めていくことが大切だと考えています。</p> <p>なお、今日の社会経済の流れは、住宅地や産業業務用地に必要な新たな市街地を郊外部に拡大していく時代ではなくなってきました。これからの都市づくりは、道路・公園・下水道などの基礎的都市基盤が整備された既存空間をより有効活用していくことが基本的な方向になると考えます。</p> <p>一方、道内外を結ぶ陸・海・空の交通網につながる幹線道路網や鉄道に恵まれた本市において、住宅地や産業業務機能の立地には高い優位性を持っていますので、健康で活気ある都市づくりを目指し、環境との調和等を十分考慮した中で、これらの優位性を生かした住宅地や産業業務機能の立地についても適切な規模、配置等を計画的に進めていくと考えています。</p>
<p>ベッドタウンなので仕方がないが、まち全体に味がなく、あまり親しみを持てなかった。住みやすいまちとは言いにくい。最も愛着のないまちでした。</p>	<p>かつてはゆったりとした田園風景が広がるまちであったものが、急速な都市化の流れとともに30年程の短期間の中で今日のような市街地が形成されました。都市環境の満足度をどのような尺度で見るかは、人それぞれに判断基準が異なるため、一様ではないと考えています。</p> <p>ただ、短期間のうちに都市化に対応した都市環境の整備を行なったため、市民とともに時間をかけ</p>

	<p>た都市環境の形成という点からは不十分な面があることも実態です。</p> <p>それだけに今後は、住み良さを感じながら落ち着いて暮らせる住宅地や市民各層が便利で楽しめる商業地、産業活動を増進し雇用の場を創出する工業・業務地など「ゆとり」と「うるおい」のある緑豊かな都市づくりを目指していきたいと考えています。</p>
<p>少子高齢化時代に向け、効率の良い借金負担の残さない自治体を考え、それに合わせたまちづくりが必要だと思います。</p>	<p>今後はかつてのように新たな市街地をどんどん外へ外へと広げていくような状況ではなく、既成市街地内での土地等の有効活用、効率的活用等いわゆる既存資源を生かした環境との調和のとれた都市づくりが基本となっていくと考えます。この基本のもとに、本市の優れた点を生かした新しい開発等を計画していく場合にあっても、限られた財源や環境に配慮した社会資源の活用等に意を払いながら進めて行くことが必要だと考えています。</p> <p>生活や仕事をする空間としての都市は、市民と行政が協働して手入れをして、使いやすい、きれいな都市を維持し、次の世代に引き継いでいくことが、私たち世代の責務だと考えています。</p>

都市構造に対する意見

意見等の概要	都市計画マスタープラン素案における考え方など
<p>例えば「豊かな自然に恵まれた」とあるが、「豊かな緑」を維持できるのは、そこで生活している農家や林業家が営みとして維持しているからだ。こういう人たちの生活が豊かに続けられれば、行政がお金をかけて緑(自然)の維持をする必要はなくなる。</p>	<p>農地や樹林地はそこで農業や林業の営みがあることによって適切な維持管理の手が入り、良好な保全が図られるものと考えます。</p> <p>本市の森林所有者は林業を目的とする財産としての森林ではなく、単に資産としての所有状態の私有林が大部分であり、かつ、その所有者の大半が市外の人です。</p> <p>このような状況での森林保全は難しく、林業財としての森林ではなく多様な機能をもつ環境林という方向で、所有者の理解のもとにその保全を図っていくことが大切と考えています。こうした観点からの森林の保全については、現在、並行して策定中の「緑の基本計画」と十分整合性を持った取り組みが必要だと考えています。</p> <p>また、農地の保全については、まず農産物の自由化や農業者の高齢化、後継者難など多くの課題を抱えた農業振興がどのような方向に向かっていくかがキーポイントであり、それは都市計画ではなく農業振興政策の分野で取り組まれる内容となります。</p> <p>森林や農地のもつ多様な機能を踏まえ、無秩序に森林や農地に浸食するような都市計画を避け、その良好な保全を図っていくことを基本として行くべきだと考えています。</p>

<p>各地区バラバラに都市化しており、中央（北広島駅）での事業はとても参加できないが、道路の軸をつくることにより、北広島市の各地区を中心とした連携はできる。心配なのは北広島市の中心部に位置する広大な森林の中に道路ができることにより、森林が守られるのか。いずれにしても北広島市中心を軸とする交通網を早く確立して欲しい。</p> <p>20年後の想定人口は分からないが、都市機能を考える上で、環状放射の道路が理想的な都市だと思う。北ひろしまの現状を考えると地域が分断されている中で、中央に核とする市役所を配することは無理なのだろうか？ また、構造図には記されていないが「ガス」供給基地があるため、空洞化地域ができることを想定しているのだろうか？人口増加及び産業整備を考えると無理にグリーンベルトを設ける必要はないのではないかと。ゴルフ場の面積が他の都市より多いのだから。</p>	<p>各地区の連携を図る道路網の整備充実については、既存道路の活用による対応を基本として考えており、その充実は大きな課題だと考えています。したがって、素案ではご意見のような本市の中央部にある広大な森林に新たに道路を設ける等の考えはありません。</p> <p>なお、ご意見の道路が、将来構造図で示した市中央部を縦断する形の緑の軸（矢印）を指しているのであれば、国有林を中心とする森林や樹林地の分布状況を模式的に示した本市の自然環境を形成する背骨ともいえる「緑の軸」であり、札幌や江別など隣接都市の森林ともつながりを持つ大切な緑地として位置づけたものです。</p> <p>北広島市の中央に市役所等の中心的な機能を配置し、そこから各地区へ放射状に道路が伸びているというのは大変分かりやすいパターンだと考えます。</p> <p>しかしながら、本市の中心部に都市の中核機能を新たに配置することは、それに伴う各種の機能が付随しなければ、何もなかったところに官公署だけがある空間形成となってしまいます。官公署等の中核機能や各種サービス機能等に付随する機能をも考えると、新たな市街地の拡大を招き、場合によっては既成市街地の衰退につながりかねないなど難しい問題を持っていると考えます。ただし、各地区間の市民の心のつながりやどの地区でも公共サービスや文化的情報等が均質に享受できるような機能の充実等については、市民も行政も一緒になって知恵を絞っていかねばならないと考えています。</p> <p>なお、ガスの供給施設があるから土地利用がないということではありません。また、緑の軸など自然環境として重要な緑地は人間や野生生物の生存にかかわる問題だと考えます。未利用の土地があるから全てを人工的な利用に使い尽くすことにはならず、多様な野生生物の存在と私たちの存在（生存）が、常にオーバーラップした都市づくりが大切だと考えています。</p>
<p>当市は、大都市札幌と空港都市千歳との中間、この両市を利用することが一番。北広島は、これから大幅な人の増加はないし、必要もない。現在の条件で、野、畑、森林を使用した都市づくりでいい（大型ビルも必要なし）。</p>	<p>北広島市の近隣の都市には、高次の都市機能をはじめとする多様な都市機能があり、この機能を上手に活用していくことも必要だと考えています。その上で、本市を生活拠点とする私たちにとっては、本当に必要なものや次世代に迷惑をかけずに継承できる都市づくりを、市民の皆さんとともに考えながら築いていくことが求められていると考えます。</p> <p>ただ、時代の流れや社会が変わると、人の価値観や生活のスタイルなども変わるため、その変化に対応した都市づくりも必要となります。したがって、自然環境や市民文化等なくしてはならないものを守り育てつつ、新たなニーズに対応する都市づくりを進めていく必要があると考えています。</p>
<p>都市の形態や景観も重要な都市計画の要素だが、いま、北広島市に求められているのは、</p>	<p>農業の振興策については、農業サイドの振興計画の中で検討されるものですが、無秩序に農地を浸食</p>

<p>札幌のベッドタウンから脱皮するための雇用の創出に向けた産業基盤の整備。特に近郊農業の生育強化、住民への農野菜を供するシステムづくりである。</p>	<p>しない都市計画の取り組みや、農業施策と関連した都市計画の面からの取り組みがある場合には、十分連携をとり、農業振興にも寄与していきたいと考えています。</p>
<p>「緑の軸」の記述だと「手のつけない緑を保全する」と読めるが、「交流の森」等を整備するというのでは矛盾していると思える。</p>	<p>緑の軸にあたる緑地は、本市の水源涵養機能や多様な野生生物の生息生育環境の基盤をなしていることから、できるだけその自然環境に影響を与えない形で保全に努めていくべきだと考えています。</p> <p>その上で、人と自然のふれあいの接点となる緑地は、できるだけ人間による影響を与えないよう配慮し、それぞれの緑地の役割等を考えながら適切な形で保全や利用等を図っていくことが必要だと考えています。</p>
<p>「交流の森」を考えた場合、森林地域だけでなく、多くの人の交流を可能にし得る施設、花ホールも「交流の森」に入れるべきではないか？（限定された使用用途ではあるが）</p>	<p>ご指摘の通りだと考えています。「交流の森」は、本市の特色である身近な緑に囲まれた環境を活かしつつ、文化、スポーツ、レクリエーション等々、市内外の多くの人びとによる色々な交流が進むことを目指しています。</p> <p>なお、『森』には、「モノがたくさんあるようす」という意味もあります。したがって、単に緑地としての森だけではなく、多くの人が集まり行き交う施設や機能、例えば芸術文化ホールや、エルフィンパーク、総合体育館、公園等も広く「交流の森」を構成する機能の一つだと考えています。</p> <p>緑を基調としながら色々な目的を持った人びとが集まり行き交う空間や機能を考えつつ、特に、将来に向かって本市の中心部にある緑とその周囲の緑につつまれた空間を、「交流の森」と位置づけ、交流空間の形成を目指していきたいと考えているものです。</p> <p>したがって、ここでいう交流の森には、ご指摘の通り、国有林やレクの森、総合運動公園、平和の灯公園、輪厚川親水空間、中の沢の緑景観、ふれあい公園、緑葉公園、芸術文化ホール、図書館、エルフィンパーク、大学なども含まれると考えています。</p>
<p>都市づくりの理念の「互いに連携し」というのが構造図からは読みとれない。（各地区間にも軸が入らないと、「交流の森」がすべてに見え、何を連携するのかよく分からない）</p>	<p>図示のあり方について工夫が必要と考えます。</p> <p>また、「連携」には、道路や交通手段、インターネットなど人為的なもののほか文化、芸術、スポーツ、教養活動、ボランティア活動等々でのつながりなどハード、ソフトの様々な連携やつながりが考えられます。</p> <p>このような多様な手段や方法等で、市内各地区に生活する市民同士の交流はもとより市内外の人びととの交流を通じて、「それぞれの多様性を認め、温かい心でつながる市民コミュニティ」を形成する必要があると考えます。</p> <p>そこで、本市の最大の特色である身近な緑を基盤として色々なチャンネルを通じた人びとの交流を促す機能の形成を図っていきたいとする考えです。</p> <p>また、その機能は大小を問わず各地区にもあるべき</p>

	<p>機能だと考えます。</p> <p>その中心として、本市の中央部にある森林など（「交流の森」）を背景とした社会的、文化的等の各種チャンネルを通じて、多様な交流機能の形成を図り、「それぞれの多様性を認め、温かい心でつながる市民コミュニティ」を形成していきたいとする基本的な考え方を表しているものです。</p>
<p>地区住民が集まり交流できる空間も行為もない。「交流の森」に世代及び目的をバラエティーに富んだ内容で、人が集まり楽しむことのできる公園等が必要ではないか？</p>	<p>各地区においてご提案のあった点については、現在ある公園・緑地の利活用のあり方等も含め、今後十分検討すべき内容だと受け止めております。</p>
<p>魅力あるスポットを目玉に集客力のある都市づくりの視点も今後の自治体の活力を出すためには必要と考える。</p>	<p>このまちの特色である緑を意識し、市民生活から遊離した機能整備ではなく、生活の中から他の都市にはないものを生み出し、それが市の内外の人びとに親しまれるようなものを、市民や事業者と協働して取り組んでいくことが大切と考えています。</p>
<p>ドイツ各都市の森を核とするまちづくりをモデルとすべきです。</p>	<p>ドイツの都市づくりについては、十分に承知しているわけではありませんが、大変参考となる内容だと受け止めています。短期間に結果を求めるのではなく、自分のまちを大切に、大事にしながら環境との調和のもとに息の長い都市づくりへの取り組みなどは大変関心があります。ただ、日本の市民感覚や都市づくりの制度的な面から見ても難しい面が多いのでは、とも感じていますが、身近な緑の多い本市の特性を生かした都市づくりが進められるよう、良い点の一つでも参考にするようこれからも勉強していきたいと考えています。</p>
<p>私の住んでいるところは都市構造図からすると農業地域となっているが、現実には住宅地である。</p>	<p>都市構造図は、本市を形成している基本的な構成要素を、きわめて概略的にあらわしているものであり、地図のような正確なものではありませんのでご理解ください。（なお、ご指摘のあった方のところは、実際には都市地域（市街地）の中にあるものと思われる。）</p>

土地利用に対する意見

意見等の概要	都市計画マスタープラン素案における考え方など
<p>計画団地である北広島団地地区は、景観としては形づくられたが、人口構成的には問題が残る。町内会運営、子どもの教育環境（適当な人口構成：老人から幼児まで）等を考慮して、団地内住民の移住が積極的になるような施策も取り入れて欲しい。西の里地区にも</p>	<p>昭和40年代～50年代前半に開発された住宅団地は、当時大量の住宅需要が背景にありましたので、比較的年齢層が近い世帯が短期間に移り住んできたという状況があります。このため、一定の時期が来ると子どもの巣立ちや高齢化が一斉に進みました。このような問題は全国的にも課題となっています。</p>

<p>言えるのではないかと心配している。</p>	<p>素案では、「コミュニティの維持を図るため、2世帯住宅の立地誘導や子育て世代への住み替え誘導を図る」としていますが、さらに具体的な方法については、専門家や市民を交えて十分検討していく必要があると考えています。</p>
<p>工業を誘致し、もっとマンションや集合住宅を建設できるような環境を整え、他市にあるようなものでなく、北広島の好条件を十分活用し、高齢者も若人も安心して生活できるような環境づくりを目指したい。</p> <p>駅から近いところに工場などの企業を沢山誘致して欲しい。駅前に一戸建て住宅はいらない。大企業（大型商業施設）を出店させ駅とワンフロアでつなぎ、駅自体を駅ビルにするという（都市化優先）。24時間営業の大型店が少ない（ファミレスなど）。</p> <p>JR駅周辺の形成ですが、通勤通学ステーションの現実と空地状況を見ても、住宅、商業環境づくりは基本的に直したらいいと思います。</p>	<p>活気のある都市づくりには、緑環境と調和のある自然的・都市的な既存資源を有効に生かし、事業者等が事業環境としての魅力を感じる都市づくりが必要と考えています。</p> <p>素案では、土地利用の基本方針の中で、駅周辺については「商業施設や公共施設の立地、集積を図る」、「土地の高度利用を図りながら集合住宅を立地させ、利便性の高いまちなか住宅地を形成する」という方向を示し、にぎわいのある商業業務地の形成を促進するとともに、都市の快適性を感じるまちなか住宅地の形成を図る考えを示しています。</p> <p>また、工業地については素案では、「本市の立地特性をアピールして、製造業を中心とした企業の誘致を図る」という考え方を示していますが、工場等はその立地場所や周りの環境への配慮が必要なため、用途地域が工業地域等の工業団地や準工業地域での立地誘導を図るとともに、現在開発計画の検討に取り組んでいる新たな産業業務団地等において立地されることが望ましいと考えています。</p>
<p>北広島団地の容積率を上げるべき。</p>	<p>容積率の緩和については、住まい方や世帯の変化等の要因で、住宅の増改築等を進めたいとする世帯もあるものと受け止めています。とくに、大変良好な住環境をもつ北広島団地などは、その環境を損なわずに将来にわたって保全されるような配慮のもとに考える必要があります。環境は一旦悪くなるとその回復は大変難しくなります。したがって、良好な環境の保全を前提に、現在住んでいる皆さんと一緒に検討し、その方向を見いだしていくことが大切だと考えています。</p>
<p>北広島団地内の生協がなくなったので、買い物をするのに不便です。お店のことを考えてください。</p> <p>北広島団地内の生協や銀行の撤退で、団地のサブセンター機能が皆無。</p>	<p>商業が成り立つ環境の変化が激しく、その動向を見通すのが難しいというのが実情です。</p> <p>素案では、地域商業地については「高齢社会に対応し、住宅の身近で日常生活に必要なものを入手できる商業機能を残しつつ、人や情報の集まる地区のコミュニティの中心地の形成を促進」に努めていく考えを示しています。</p> <p>ただ、小売り商業の今後のあり方を予想することは難しく、関係する情報や連携等を密にしながら、身近な生活圏での商業機能の確保、あるいは宅配機能等新しい小売り機能の充実等、各地区の商業・サービス機能の立地誘導等に努めていく必要があると考えています。</p>
<p>他の地区にあるのに大曲地区にはないのが市</p>	<p>市では現在、「住宅マスタープラン」の策定を進</p>

<p>営住宅。できれば早い時期に市営住宅の予定を立ててもらいたいと願っています。</p>	<p>めています。この中で市営住宅のあり方等についても検討される予定です。</p>
<p>西の里に昨年建設営業開始したホテルは、明らかに風俗営業である。近隣に学校があり、「個性あふれる緑豊かな都市」の看板が白々しい。</p> <p>市内全域わたってラブホテルなどの建設を禁止することが絶対必要。</p>	<p>市では現在、関係法令の対象とならないこの種のホテルの立地規制を図るため、条例制定を前提に検討を進めています。</p>
<p>西の里地区は札幌寄りにあり、商店区域にスーパー、商店が少ないため、近隣の札幌に買い出しに流出している。また、北広中心街に出向く者も少なく、何とか北広島内部の活性化、集客を目指したいところです。</p>	<p>小売店の商圏や成立条件によって、身近な生活圏に欲しい店舗の立地が見られないのが現状です。しかしながら、最近では、大型店や中小型のスーパーのなかった地区に新たな店舗が立地するなどの動きが出てきています。地区ごとの商業機能については、素案の中で「高齢社会に対応し、住宅の身近で日常生活に必要なものを入手できる商業施設や文化施設などの人や情報の集まる地区のコミュニティの中心地を形成する必要がある」との考え方を示しております。このような考えのもとに、関係する情報や連携等を密にしながら、各地区の商業機能の立地誘導等に努めていく必要があると考えています。</p>
<p>西の里の開発の遅れを行政が責任をもって都市計画マスタープランに加えていただきたい。</p>	<p>各地区の都市的整備や形成については、それぞれの地区の特性を踏まえた身近な生活圏として、各種の生活利便性の向上等生活環境の質的向上を図っていくことが必要だと考えています。</p>

土地利用に対する（個別）意見

意見等の概要	都市計画マスタープラン素案における考え方など
<p>北広島の立地条件を基本的に考え、農地を利用しての人集め。</p>	<p>各地区に新しい市街地の拡大が進む本市にあっても、農業は大切な産業であり、市街地の周辺に広がる「農」の風景は、生活するものにとって人為的に作り出せるものではありません。農地や農業機能を活用した人びとが集まり、交流等が可能なまちにしたいとの思いがあります。</p> <p>ただ、農業関係の具体的な振興施策については、農業サイドの振興計画の中で取り込まれるものですが、農業施策と関連して都市計画の面からの取り組みがある場合には十分連携をとり、農業振興にも寄与していきたいと考えています。</p>

都市交通体系に対する意見

意見等の概要	都市計画マスタープラン素案における考え方など
<p>自家用車に頼らないまちづくりというのは、とても共感できるが、街並みをみても現実的ではない。駅前を見ても非常に無味乾燥としている。</p>	<p>街並みを形成している建物等は、民間企業の建物や個人住宅など、ほとんどが「民」の建築物で占められています。本市は、短期間に押し寄せた都市化の波への対応を優先してきたため、優れた街並みや土地利用の面で未成熟な面があります。良好な景観に配慮した都市づくりにも努める必要があると考えています。</p> <p>自家用車に頼らないまちづくりについては、素案の土地利用の基本方針で「JR北広島駅周辺は、商業施設や公共施設の立地、集積を図りにぎわいのあるまちの顔にふさわしい商業業務地を形成」を図ることを基本方向として示しています。関係する情報や連携を図り、実現に向けた努力が必要と考えています。</p> <p>なお、あわせて公共交通の充実や自転車道の整備等を進め、マイカー以外の移動手段の選択できる都市交通を目指した取り組みが必要と考えています。</p>
<p>駅前の商業ゾーンまで行くには、冬期間は大変。</p> <p>札幌市の会社に行きやすいように交通アクセスを深夜まで確保して欲しい（JRの始発も早く）。</p> <p>午後8時以降の北広島駅から北広島団地を循環するバスの便が少ないので、増便して欲しいです。</p> <p>北広島に住んで一番悩んだのは交通の不便さです。バス停が分かりにくく乗りにくい。本当に車社会だと思います。駅まで行くのに遠くのバス停まで歩き、1時間に1本が普通。</p>	<p>生活スタイルの変化や就業環境の多様化などに対応する公共交通の充実は難しいものがありますが、素案では公共交通の充実として「JR線や路線バスの利便性の向上の促進」、「地区間や地区内をネットワークする公共交通のあり方の検討」が必要だとする基本方針を示しています。この基本方針に即して、関係する公共交通機関とも連携を図りながら、さらに整備、充実に向けた検討に取り組んでいくことが必要と考えています。</p>
<p>70歳以上の老人に対し、市内循環バスの無料化（せめて100円程度）。</p>	<p>市内循環バスについては事業の採算性など難しい問題があり、また高齢者の無料化や低額利用についても事業費等の面で大きな課題があります。しかしながら、市内移動の利便性向上や高齢化に対応した移動手段のあり方等については避けられない課題であり、素案では、「地区間や地区内をネットワークする公共交通のあり方について検討する」と示しています。</p>
<p>道路の整備（住宅地内の信号の設置など）をもう少し。</p>	<p>素案では、住宅地内の道路については「生活に密着した道路は順次整備を行い、地区住民と行政が協力しながら、安全性や防犯性を高めるなど、歩行者、自転車と共存でき、歩いて楽しい道路空間を形成する」という基本的方向を示しています。この基本方</p>

	<p>向に即して安全な生活環境の形成に努めていくことが必要と考えています。</p>
<p>道道江別恵庭線に歩道橋の設置を希望します。</p> <p>道道栗山北広島線と市道大曲通線の交差点に大曲東小学校通学路のための歩道橋を絶対設けて欲しい！冬はとても危険。</p> <p>道路、交通関係は積極的かつ具体的方策はあるが、それに伴う交通安全対策、例えば歩道の確保、充実、歩行者優先道路地域設定など基本的なものを考えてはどうか。</p> <p>美咲き野に引っ越してきました。小学校は北の台小学校になるそうで、家から学校までの間に道道江別恵庭線を挟んでおり、信号、横断歩道はありますが不安です（大型トラックなどが沢山通っているのです）。</p>	<p>素案では具体的な交通安全施設についての記述はありませんが、道路空間の環境整備として「歩行者の多い道路、また、自動車の交通量の多い道路については、優先的な除排雪の強化、信号や標識の設置などを行い、道路の安全性や快適性を高める」という基本的な考え方を示しています。この考え方に即して交通安全担当の関係機関等との連携を図り、より安全な道路交通に努めていく必要があると考えています。</p>
<p>道路の軸とされる道道江別恵庭線が、都市地域の中央を走り、かつ上り下りの坂がある。また、信号交差点があり冬期間は車の運転の難所となっており、事故が目立ちます。道道江別恵庭線を北の里の信号交差点から東の里の外回りとする計画がなかったのでしょうか。将来10年、20年後、問題となると思います。</p>	<p>道道江別恵庭線の交通安全対策については、今後の交通量の動向も見えていく必要がありますが、当該道路の安全対策の可能性の検討を含めて、素案では「沿道に立地する教育施設や住宅地の環境・安全性を向上するため、バイパス道路について検討」という方向性を示しています。</p>
<p>都市交通体系の目標にある「交通を充実し、移動手段を選択できる都市交通の実現」と「住宅地内の通過交通の抑制」、「安全で楽しい」とあるが、「矛盾」することが多い。市道西の里団地1号線の通過交通を見ても明らかだし、市道西の里白樺通線からもみじ台へ抜ける道を通しても通過交通が多くなり、また矛盾が表面化します。ですから「便利」、「効率」よりも「安全」、「自然環境」を優先に発想、価値観を切り替えるべきときです。</p>	<p>生活利便性の向上や効率的な交通体系の整備・充実、今後も必要と考えます。また、札幌市を隣に控える本市の位置条件から、通過交通は避けられないのが現実です。ただ、ご指摘のとおり、これからの都市づくりは、安全、自然環境の保全といった面から一層の配慮が必要と考えています。そのためには、将来にわたって利便性の向上や自然環境保全について、どうあるべきかを市民や事業者と市が一緒に考え、解決に努めていくことが大切だと考えています。</p>
<p>西の里から北広中心への利便性を考えてもらいたい（直結路の案）。</p> <p>西の里地区から北広島市街までの道路は、道道江別恵庭線を經由しなければならない。交通渋滞のときは時間がかかる。防災事故対策を含めて途中からの連絡道路が必要。少なくとも北広島高校前の通りを国道274号に連絡する方法も検討願いたい。</p>	<p>西の里と東部地区を結ぶ道路は、大曲地区経由のルートを除くと国道274号のみで対応している状況にあり、両地区間の短絡を希望されることは理解するところです。ただ、ご指摘のルートは、国有林や民有林によって本市の中核的な緑環境を形成しているところであり、「緑の基本計画」では本市の緑の軸を形成するものとして、その自然環境を保全すべき緑地としているなどの観点から、都市マス素案では当該地に道路を計画する考えは持っていません。</p>

<p>上野幌駅周辺の整備について、西の里団地や高校2校を擁して交通アクセスに力を入れて考えることが重要である。</p>	<p>通勤・通学等に対応した交通機能の充実は順次図られてきていると考えています。上野幌駅周辺の整備については、駅が札幌市内にあることや土地所有等の複雑性など多くの課題があります。当該駅周辺の幹線道路整備の状況も踏まえて、さらに関係機関との連携を図りながら、日常の利便性の向上に努めていく必要があると考えています。</p>
<p>自転車道路を整備するなら北広島駅でレンタルサイクルをすれば便利ではないだろうか！他から北広島駅に来たとき、あるいは北広島市内の公園などに遊びに行く場合は便利だと思う。環境にも優しい自転車はアピールするに値する。</p>	<p>素案では「サイクリング・ネットワークの形成」、「自転車が安全、便利に利用しやすい環境整備を進める」という基本的考えを示しています。この考えを踏まえて、施設の整備と併せてご指摘の「レンタルサイクル」についても、関係者間で検討していく事項だと考えています。</p>
<p>稲穂町のコミュニティ道路の補修について、昭和60年より使用開始したこの道路は、2、3年にして歩車道区分のフェンスは撤去し、区分がない状態。車道は凸凹が激しく、車はもちろん歩行者も危険な状態です。早急に手入れすることを申し入れます。今までも何度となく申し上げておりますが一方向に処置する方向になりません。</p>	<p>市内の区画道路については、まだ未整備の道路もありこれらの解消を目指すため、素案では「区画道路は、生活に密着した道路として順次整備していく」という基本的な取り組みの方向を示しています。 なお、現状は、ご指摘の道路を含む区画道路の全市的、全面的な補修は難しく、局部的な補修での対応という実情にありますが、今後に向けた取り組みの基本として「生活に密着した区画道路の適切な補修、改良など」について、素案の内容を検討したいと考えています。</p>

都市交通体系に対する（個別）意見

意見等の概要	都市計画マスタープラン素案における考え方など
<p>駅前西口公園は壊して道路をすっきりさせた方が良い。</p>	<p>素案では、「鉄道駅の交通結節機能強化のため、バスやタクシーバース、パークアンドライド駐車場などの交通施設や交流広場などの駅前広場の整備を進める」とする基本的な方向で考えています。</p>
<p>道路の軸線は、整備にあまり年月をかけずに早急に整備する必要がある。</p>	<p>素案の内容は、今後に向けた都市計画の基本的な方針を示したものです。したがって、道路整備についてもこの方針に即して優先度の高いものから計画的に取り組んでいくこととなりますが、道路整備には用地の取得の問題や環境への配慮等も必要ですので、これらを合わせて十分検討された計画のもとに進める必要があると考えています。</p>
<p>北広島の今後の発展を考えると、新札幌 西の里 市役所 北広島駅にいたるラインに地下鉄と光ファイバーによるケーブルテレビ・ブロードバンドが通ると、周辺都市と合併しなくても札幌に次ぐ大都市になる可能性を秘</p>	<p>地下鉄は地上の交通渋滞や天候の影響に左右されることなく、特に冬期間を考えると快適で優れた大量交通輸送手段だと考えます。 ただ、ご承知の通り大都市札幌市でも、地下鉄の建設と運営には多額の建設費・運営費を要する状況</p>

<p>めています。</p>	<p>にあり、苦勞されている実態があります。本市の都市規模で地下鉄の建設と運営に取り組むことはきわめて難しいと考えています。</p> <p>なお、光ファイバーなどの通信手段のあり方については、本市域内各地区間の情報交流のあり方を考えていく上でも、今後検討が必要と考えています。</p>
<p>国道274号の夕鉄バスも利用できるようなできないものか。</p>	<p>国道274号を運行している夕鉄バスの路線は、夕張・札幌間の長距離便であり、市内の停留所については、乗車・降車のどちらか一方しかできません。このような都市間バスは、途中の乗降停留所をできるだけ省き、目的地まで最短時間で運行できるように設定されています。市としては、生活バス路線に関して、市民の要望を踏まえ事業者に対し、各種協議等を行っておりますが、都市間バス路線については、市民の足となる生活バス路線と性格が異なることから、都市間バスの事業者との協議等は、行なっておりませんので、ご理解願います。</p>
<p>国道36号の地の利を活かし、近隣住民にアピールできる施設として「道の駅」はどうか。集客力を増し、市民のための娯楽、憩い、福祉等の施設も併置したい。</p>	<p>「道の駅」を都市計画上の都市施設として考えていくかという問題がありますが、幹線道路網に恵まれた本市の立地条件の優位性を生かした交流機能等の整備については、都市計画にこだわらずまちづくりの一環として検討される内容だと考えます。</p>
<p>J R千歳線沿いの遊歩道に、夏は日陰をつくる樹木があって、緑だけでなく春はお花見、秋は紅葉など、楽しみながら歩けると利用者も増えると思います。安心して歩けると健康に結びついたウォーキングになると思います。</p> <p>札幌北広島自転車道の工事計画がなされておりますが、沿道を四季折々で楽しめる夢のような並木(桜・つつじ・白樺・その他広葉樹)道としたらいかがでしょう。利用する市民の健康増進やリフレッシュに大いに役立つものと考えます。それも小規模のものでなく、他市にない北広島市が誇れるものであって欲しいと思います。</p>	<p>素案では自転車・歩行者道路に関して「安全、便利に利用しやすい環境整備を進める」ことを基本的な方向として示しています。この基本的な方向に即して計画的な整備に努めていくことが必要と考えています。なお、ご意見の点については、ネットワークづくりを進めていく中で、これら道路の快適性などの質についての配慮も考えていく必要があると考えます。</p>

緑・水環境に対する意見

意見等の概要	都市計画マスタープラン素案における考え方など
<p>国営滝野すずらん丘陵公園や平岡公園の梅園のように週末に家族で楽しめるレクリエーション施設や子育てしやすい環境を整えてあげたい。</p>	<p>これまでは、市街地の拡大に対応する道路、公園、上・下水道等の基礎的都市基盤の整備を重点に取り組んできました。ご意見のように子どもたちが歓声を上げて走り回り、遊ぶ光景が見られる公園やレク</p>

<p>子どもたちが十分に楽しめる大型遊具のある発想豊かな広大な公園がない。ちまちました公園施設づくりはやめていただきたい。</p>	<p>リエーション施設は、夢を与える施設として各種の基礎的都市基盤の整備状況等を勘察しながら、今後の検討課題と受け止めております。</p> <p>なお、身近な公園について素案では、「地区の住民の参加を得ながら公園のあり方を検討し、市民が憩い、親しまれる公園を整備する」という基本的な方向を示しています。この基本方向を踏まえた取り組みを進めることが必要と考えています。</p>
<p>「乱開発防止」と言いながら、昨年、輪厚の宮北牧場下の林もつぶされました。総花的な方針では、結局、緑を守り育てることにはつながらないと思います。</p>	<p>ご意見のように、守るべき森や林などの緑の保全を図る対象のほとんどが民有地であり、資産保有のための樹林地ですが、財産の運用に対する規制は難しいのが実情です。</p> <p>しかしながら、本市の特色である緑を基調とした快適な都市づくりという基本的な方針を、都市マスや別に策定中の「緑の基本計画」において明確に位置づけ、緑あふれる都市を次世代に継承するためにも、可能な限り土地所有者や市民、事業者の皆さんの理解と協力・協働のもとにその保全と適切な活用等に取り組んでいくことが大切だと考えています。</p>
<p>緑の軸について、緑と水は必ずリンクさせて。(緑と水のための表現だけでは物足りない感じ)</p>	<p>素案における都市の将来構造では、緑をはじめとする本市を形成する根幹的な軸となる要素を、きわめて概略的にあらわしております。</p> <p>緑と水に関する考え方については、素案の「緑・水環境の基本方針」でもその基本的な考え方を示しています。</p> <p>なお、同時に策定を進めている「緑の基本計画」においては、緑と水が人びとに与えるうるおいや安らぎ等の効用、あるいは多様な野生生物の生息・生育環境としての役割などを踏まえた基本的な計画の方向を示しています。</p>
<p>農地、宅地以外の空地利用緑化(パークゴルフ場等の造成。既設ゴルフ場の見直しなど。)また、市道の桜並木化、河川敷地の公園化。</p>	<p>緑豊かな、快適で美しい都市づくりに取り組んでいく中で、ご意見のような施設の適切な配置も検討すべきだと考えています。ゴルフ場見直しというご意見の内容が不明ですが、新設の抑制であれば本市はこれ以上のゴルフ場新設はできません。また、既存ゴルフ場の利用形態についてであれば、全て民間経営の施設ですので営業施設としての利用以外は難しいと考えております。</p> <p>なお、道路の並木化については、素案の中で「道路空間の環境整備として、道路の安全性、快適性の確保とともに道路空間の憩いややすらぎを高める」という基本的な方向を示しており、この基本的な方向に即した取り組みが必要と考えています。また、河川についても、素案では「河川緑地」と位置づけ、「自然環境に配慮した治水対策にあわせて、河川緑地の保全や創出、親水空間を進め、河川に沿った緑のネットワークを形成する」とする基本的な方向を示しています。</p>

<p>近隣の農家が畑に農薬を散布し、日中、家においても換気口から農薬が入ってきて目がちかちかする。良い環境をつくってください。</p> <p>北広島団地内に緑があって住むことになりましたが、すごく臭いのです。駅の周辺をきれいにすればよそからの印象はよいかも知れませんが、この臭いは最悪です。</p>	<p>市街地の周辺に田園風景が広がっている景観は、本市の大きな特色でもあります。この特色が調和する形で維持されていくことが大切だと考えます。</p> <p>また素案の中では、「農薬使用の削減に努める取り組みを促進します」という方針を示していますので、関連する計画や施策と合わせて環境改善に努めていきます</p>
---	---

緑・水環境に対する（個別）意見

意見等の概要	都市計画マスタープラン素案における考え方など
<p>自然活用の際は、これ以上パークゴルフ場の施設いらない（周囲を見渡せば、パークゴルフ場ばかり）ので、つくらないでいただきたい。</p> <p>農地を借り市営パークゴルフ場。高齢者が増えており、健康や環境問題にも良く地主側も生活安定。場所は、中の沢大正橋～道都大学。自転車で行ける距離で。</p>	<p>素案では、レクリエーション空間の創出の項で「高齢者から子どもまで、市民が憩い、安らぎ、くつろぎ、交わることができる市街地環境を形成するため、市民の参加を得ながら木や花を増やすなど、緑や水を生かし市民に親しまれる公園・緑地、河川などを整備する」という基本方針を示しています。</p> <p>なお、具体的な配置等は、適切な配置に努めることが必要と考えています。</p>
<p>北広島の立地条件を基本的に考え、多目的スポーツセンター（施設）をつくり、人を集めては（陸上、野球、テニス、サッカーなど。夏は大学、社会人をターゲットとしては、もちろん当住民にも利用）</p>	<p>素案では「豊かな自然環境を生かし、市民ニーズや機能面などに配慮しながら、ひろしま総合運動公園等の施設整備をする」とする取り組みの基本方針を示しています。</p>
<p>健康な老人が切望する公的温泉施設を。</p>	<p>人口の高齢化が進む中で、高齢者が健康的に生活する環境形成が必要と考えます。ご意見の施設については、すでに市内にある民間施設の協力をいただいた取り組みも進めておりますが、ご意見の内容については、都市計画とは別領域で検討されるものと考えています。</p>
<p>市営温水プール設置を要望します。近隣市町村に比べ、一番遅れていると思います。住民の高齢化の進むなか、健康の面に使えるプールは、これからの北広島住民には必要な施設です。〔同主旨の意見がほかに7件〕</p>	<p>素案の中では、レクリエーション空間の創出の項で「ひろしま総合運動公園等の施設整備」を基本方針に位置づけていますが、これらの整備計画を立てる上で検討されるものと考えています。</p>
<p>緑の軸については、特に桜などを植樹して桜ロード（市道輪厚中の沢線等）、また輪厚川河川敷地等を利用して、桜の名所づくりなど特色ある観光まち興し運動と夢のある楽しいまちになることを願います。</p>	<p>素案では、道路空間の環境整備や河川空間を緑地として活用するなどの基本的な考え方を示しています。具体の取り組みにあたっては、都市計画事業、あるいは他の領域の施策との関連で都市計画の取り組み場面がある場合は、関連等に十分配慮し、より良い環境形成に寄与していきたいと考えています。</p>

<p>無名の小さな小川も大事に。(蛇行させるなどして小魚や虫が住み、児童たちが遊べるように。北広島団地の周りの川には魚道がなく、堰のため魚が上がれない状況)</p>	<p>素案では「自然環境に配慮した治水対策にあわせて、河川緑地の保全や創出、親水空間化を進め、河川に沿った緑のネットワークを形成する」という基本的な方針を示しています。この基本的な方針を踏まえた、今後の取り組みが必要だと考えています。</p>
--	---

都市景観に対する意見

意見等の概要	都市計画マスタープラン素案における考え方など
<p>市街地区の配電線、電話線などを地中化して空間をすっきりしたものにする。</p>	<p>日本で最も景観阻害の要因の代表的なものの一つとして、空中を蜘蛛の巣のように張り巡らされた電線が挙げられています。本市においては、北広島駅東口の整備の際に電線の地中化を行いました。現時点では、他の地区における新たな取り組み予定はありません。ただ、美しく快適な都市環境の形成に向けた、良好な景観づくりを進めて行くためには、将来的な課題として電線の地中化は検討して行くことが必要と考えます。</p>

全般に関わる意見

意見等の概要	都市計画マスタープラン素案における考え方など
<p>子どもから老人にも理解できるよう紹介、説明を考えること(難しすぎる)</p>	<p>ご意見の点については、分かりやすい表現や内容とすることに努力していきたくと考えています。</p>
<p>10年、20年先を見たまちのあり方を考え市民の合意を得ながら進め、その時々的情勢を見ながら軌道修正し、より良いまちづくりを進めることに賛成です。</p>	<p>都市マスは、おおむね20年後を見越した都市計画の基本的な方針や方向を中心としています。社会経済情勢の変化や、上位計画である市の総合計画等の見直しなどにより、都市マスを見直すべき状況に至ったときは、適切な見直しを図っていくべきものと考えています。</p>
<p>市民生活がますます苦しくなる中、最小限の負担で整備することを考えると、この計画は「絵に描いた餅」であり、不可能な構想としか言いようがない。</p>	<p>本市における基礎的な都市基盤の整備は、相当程度高い水準にあります。今後は市街地をどんどん広げるといった状況ではなく、都市基盤が整備されている既成市街地の有効活用等を基本として計画的な都市づくりを考えていく時代だと考えます。</p> <p>都市計画の取り組みを進めていく中で実際の対応段階では、想定できない難しい課題も出てくるものと思われま。今後も、本市の地の利を生かした新たな開発も必要かと思われまますが、素案では既成市街地内の有効な土地利用など、既存資源の活用を基本とした市街地の効率的な整備・充実等を図っていくという基本姿勢を基底において取り組んで行くべきだと考えています。</p>

<p>道路、交通などは、かなり具体的な目標を設定していますが、例えば各地域にレクリエーションの場所をつくるとか、医療の問題をどうするか目標がないので設定されてはどうか。</p>	<p>本市はこれまで、急激な都市化に対応した基礎的な都市基盤の整備に力を注いできましたが、さらに、未整備地区の整備を図りながら、生活環境上の質的向上を図っていくことが大きな課題と考えております。今後は、このような観点を基本とした都市計画の取り組みが大切だと考えています。</p> <p>なお、医療関係につきましては、都市計画と別の領域での取り組みとなりますが、都市計画の面から関連する取り組みがでてくる場合には、十分連携を図りながら、医療環境の充実に寄与すべきと考えています。</p>
<p>現況の域を脱せず平面的で抽象的な表現でまとめている。立体的な映像が見えてこない。 総花的バランスを考えるあまり、核となる夢、希望の明日を感じられない。 理念に「生活文化・芸術文化を目指す」とあるが、文化建設活動の文化づくり像がない。 交通網の整備は分かるが、そのために必要な具体的な産業、教育、芸術等の導入計画があった上での話だが、具体的にまず「これこれをやるから………」というものが見えない。</p>	<p>都市マスで定められた都市計画の基本的な方針又は方向を踏まえ、次のステップとして具体の都市計画に取り組みプログラムを組み立てていくことが大きな仕事と考えております。</p> <p>少子高齢化の進展など、かつて経験したことのない社会経済環境の大きな変化は、一方で人口や産業の流入が続く都市の拡大成長という姿を大きく変え、本市にあっても人口や産業の増加はきわめて緩やかなものとなっていくと考えています。このことから、都市計画道路や公園の整備、建物の規制誘導や公園緑地の保全創出等を主として、ハード面の整備を役割とする都市計画による都市づくりの観点も、時代を見据えた生活環境の質的な向上を図り、都市としての魅力と活力を高めていくため、外への拡大から既成市街地等の既存資源の有効活用を基本とした新しい観点からの取り組みが大切になると考えています。</p> <p>さらに、都市マスは、おおむね20年間という長い期間を踏まえていることから、この間の社会経済情勢や、生活のスタイル、価値観の変化等を的確に把握することは困難です。</p> <p>したがって、予測の難しい新しい都市型地域社会の構築を目指す都市マスでは、時間と世代を超える大切な財産として、本市を形成する骨格的な自然環境や整備された都市環境等を基本に据えながら、都市づくりに対応していく基本的な方向や方針等を示しています。このため、やや理念的な内容や抽象的あるいは包括的な表現が多くなっています。今後の具体の取り組み段階では、都市マスで示された基本的な方向等を踏まえた取り組みに努めていくことが必要と考えています。</p>
<p>全体構想としては良くできていると思います。ただこの構想を実現するには、別の飛躍した発想が必要です。例えば歩道、道路、建物間の段差をなくす問題をとっても非常に困難で、市民農園や公共交通のシャトル化も然りです。</p>	<p>ご意見の内容は、市民ワークショップや都市マス策定委員会のなかでも話題になり議論されてきました。人びとが都市に求める色々なサービスなどの機能は、ますます多様化していくものと考えられます。時代背景や社会経済の潮流の方向等を適切に見定めながら、着実な取り組みに努めていくことが大切だと考えています。</p>

<p>全体的にどの項目も一般的で具体性に乏しい。</p>	<p>都市マスは、長期的な観点のもとに都市計画として取り組むべき都市づくりの基本的な方向等を示すものです。個々の都市施設整備など具体の都市計画については、これらの基本的な方向や方針を踏まえた次のステップの取り組みとなっていきます。</p>
<p>基本方針のどこに力を入れようとしているのかが分かりにくい。全てこの方針に取り組むことができるのか？北広島団地は高齢者向きの施設が多くなるのは分かるが、人口バランスを考えると若い世代が望む施設も取り入れる必要がある。どこまで都市づくりを考えているのか、どういう都市づくりをしようとしているのか？理想を並べているようにしか見えない。実現していくための問題点、解決策等の検討事項を挙げ、取り組んでいくという分かりやすい書き込みが欲しい。</p>	<p>ご意見の点については、すでに都市マスの性格や役割で記述している基本的な考え方でご理解願います。なお、具体の取り組みについては、市民や事業者の方々のご理解と協働のもとに取り組みを進めていくべきだと考えております。</p>
<p>20年後の都市計画マスタープランは夢想。当面を解決して欲しい。</p>	<p>当面の問題については、都市計画の領域以外の面が多いかと思われませんが、地域の諸問題の把握等に努めながら取り組みを進めているところです。 都市マスは、長期的な基本的方向等を踏まえつつ、時代の変化等に適切に対応した計画的、かつ、具体の都市計画を進めるためのガイドライン的役割を持っていることにご理解ください。</p>

都市マス以外の意見

意見等の概要	都市計画マスタープラン素案における考え方など
<p>農業も盛んにして、市内で生産された安全な食べ物を食卓にのせていきたいです。</p> <p>行動力のある市政を願っています。</p> <p>やすらぎ（ほっとする）のあるまちづくりに情熱のある方を数名選んで、討論を重ねるのが一番の早道だと思います。</p> <p>少子高齢社会が進む中での人口動態、人口構成などがどのようになるのか。就労、生産の場が少ない当市の人口増加は、いつまで望めるのか。現在、北広島団地地区では、既存機能の衰退、高齢世帯の増加による団地生活の</p>	<p>市街地の周辺に農地がある本市の特性を生かし、農業振興施策と安全な地産地消等を進めるにあたっては、都市計画とは別の農業振興の施策の中で取り組まれるものですが、その際、都市計画と関連する場合には、十分連携をとってその実現等に寄与して行くべきものと考えます。</p> <p>これまでの市街地周辺部への拡大基調を中心とした都市づくりから、これからは生活環境、都市環境の質的な向上を目指した取り組みを基本として進めて行くべきと考えています。また、都市マスが示す将来像の実現を図るためには、市民・事業者・行政がおのこの役割を分担し、連携と協働のもとに取り組みを進める必要があると考えます。</p> <p>少子高齢化の進む社会は、かつてだれも経験したことのない状況です。特に、高齢化が進む地区にあつては、若い世代の居住が期待できるような住宅供給のあり方や高齢者の生活状態にあった住み替えシステムのあり方等々の検討が必要と考えます。</p>

<p>将来不安から札幌市へのマンション生活を望む人びとの話題が多く、人口流出の懸念さえある。変革期の今日、地方分権、市町村合併の進行方向など、素案には加味される要素がない。</p> <p>私の住んでいる所は、ほぼ札幌圏にあり、自治体の合併、再構築が近々の課題だと思います。その方向性にあったマスタープランの検討を願います。</p> <p>札幌で働いている人が多く、バス料金も札幌市からでると高くなるから、札幌市と合併を進めるべき。</p> <p>北広島市に住みたいと思い、北ひろしま市内で愛犬と一緒に住める条件でマンションを探したが見つからなかった。ぜひ全国に先駆けて行政主導で犬と暮らせるまちづくりをしていただき、早く北広島に住めるよう願います。</p> <p>ハローワークが遠すぎ、通いづらい。ぜひ北広島市に願う。</p>	<p>少子高齢化のもとで、今後の都市社会の推移についての予想は難しいと考えますが、人口の年齢構成や移動等に関する的確な状況把握等に努め、市民、事業者および行政の協働のもとに適切な対応の検討や取り組みを進めていかなければならないと考えています。</p> <p>本市の都市マスは、策定期間が定められているなどの事情から合併を前提とした検討はしておりません。ただし、本市をとりまく環境の変化があった場合には、状況の変化に対応した都市マスの適切な見直しが必要と考えています。</p> <p>マンションの供給形態等については、都市マスで検討すべき課題ではなく、マンションを供給する事業者側が顧客に対するサービスをどのように受け止めていくかによるものと考えます。</p> <p>身近なところでのハローワーク機能の整備については、都市マスとは別の領域での対応となります。本件は公共職業安定所の対応となりますが、現在は週1回本市に出向いてもらって窓口を開設しています。この出張サービスもいつまでもということではないので、市役所の担当（経済部商業労働課）に確認してください。また、札幌駅には、ハローワークの対応窓口があるとのこと。</p>
<p>市立病院をつかって欲しい。</p> <p>市議の定数が恵庭市よりも多い。議員定数を2～3名減でも良いかと考えています。定数減により余裕のできた経費は、他の必要分に使って有効に使って欲しいと思います。</p> <p>農業をもっと充実させ、付加価値のある経営を開発していくべきである。</p>	<p>市立病院の設置は都市計画とは別の領域となりますが、市立病院は総合病院またはそれに近い機能の医療施設が想定されます。参考までに、病院（20床（ベッド）以上の入院施設等のある医療施設）の新設は、「医療法」に基づく「都道府県における医療を提供する体制の確保に関する計画」によって、一定の圏域内（本市は札幌圏＝札幌市を含む石狩管内の市町村）で必要な基準病床数が定められ、圏域全体の既存の病床数が基準病床数を上回っていれば（オーバーベッド）、市町村立の病院でも新設は認められていません。</p> <p>札幌圏では、現在既存の病床数が基準病床数を大きく超えているため、市立病院といえども20床以上の入院施設等をもつ病院の新設は認められていないのでご理解ください。</p> <p>市議会議員定数については、都市マスとは別の市議会がテーマとなりますのでご理解ください。なお、趣旨を踏まえ、無駄の少ない行政執行に努めていきたいと考えています。</p> <p>農業振興については、これまで述べてきたとおり都市マスとは別の領域である農業振興施策の中で取</p>

心情面、精神的な近隣の付き合い等々、もっと弱い人を中心に市民の基盤が助け合い、優しさ、声かけ等々を大事にするまちづくりを願う。

北広島の立地条件を基本的に考え、名所づくり（桜などの花づくりは）

西の里会館の設備、その他改築等を含めて検討願いたい。

マスタープラン全体については、とても良い案と感じました。市庁舎の早期着工もプランの中に入れてください。身近の多くの方々の意見です。

り組まれていきます。都市計画として関連する面がある場合には、十分連携を図り、農業の振興に寄与していく必要があると考えています。

地区の会館や市庁舎などに関するご意見については、公共施設の整備計画を検討する際の参考とさせていただきますと考えています。なお、これら施設の計画段階で都市計画に関連する場合は、十分連携をとり、その実現に寄与すべきものと考えています。

3. 地域別構想素案に対する意見

意見募集期間	平成15年10月1日（水）から10月15日（水）まで
募集方法	広報紙および市のホームページに地域別構想素案の概要を掲載し、はがきやファックスなどで意見を募集。また、ワークショップ参加者には、往復はがきにて意見や参加しての感想などを寄せてもらった。
意見提出者数	19名、意見数19

全体に関わる意見

意見等の概要	都市計画マスタープラン素案における考え方など
<p>WS会議の意見は、目先の利害でまとめてしまいがちに思えた。 素案は、当り障りがなく少々物足りない。なぜもっと北広島の資源を社会的にアピールしないのか。</p>	<p>地域別ワークショップは日頃の生活で感じていることを意見・アイデアとして出させていただきました。都市マスの策定に関しては、全体構想でのワークショップやアンケート調査(地域別構想へも反映)なども行っており、広く市民の意向を把握しながら策定していると考えています。</p> <p>また、素案が少々物足りないのご意見ですが、都市マスは、望ましい将来都市像を描き、その実現に向けての基本的な方向性を示すものです。これからの都市づくりは、大切な財産である豊かな緑の環境を保全・活用しつつ、暮らしやすさを高めていくことが重要と考えていますが、都市マスの性格上、やや理念的な内容や抽象的あるいは包括的な表現になってしまうことをご理解願います。</p>
<p>課題は、住環境のあり方、少子高齢化、地域特性を生かした独創性（地区毎の交流の場、活性化）、静と動とのバランス、市民による文化の創造だ。そのためには、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 四季を通じた住みよいまち <ul style="list-style-type: none"> ・各地区の特性ある森づくり ・多雪対策 2. 文化の豊かなまち <ul style="list-style-type: none"> ・各地区の核となるコミュニティ空間整備 ・遺産の保全と文化創造の推進 3. 生活に便利なまち <ul style="list-style-type: none"> ・利便性の高い住環境（交通、商業） 4. 安全、安心、平和なまち <ul style="list-style-type: none"> ・事故、犯罪の防止 ・災害時の弱者支援 ・医療の推進 ・環境改善の推進 5. だれもが元気で活気のあるまち <ul style="list-style-type: none"> ・安心、楽しく歩ける道づくり 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 市の中心部にある国有林、南の里の森林、仁別・三島の森林、身近にある樹林地など、本市には多くの緑がありますが、保全を基本としつつ、それぞれの緑環境の特色を生かし、活用を図るという考え方を示しています。 多雪対策としては、「通学路や病院、商業施設の周辺など歩行者が多い道路や交通量が多い道路については、優先的な除排雪や融雪の強化を図る」とする方針を示しています。 2. 地区ごとに商業・業務施設や文化施設などを中心とする核づくりを進め、人や情報が集まる、地区のコミュニティの中心地を形成するという考え方を示しています。 遺産の保全、文化創造の推進については、都市計画と別の領域での取り組みとなりますが、都市計画の面でかかわりが出てきた場合には、担当セクションと連携を図りながら取り組みを進めていきたいと考えています。 3. 各地区にまとまりのよい市街地及び地区核の形成を図り、車を使わなくても、歩いて商業施設や公共施設を利用できる環境をつくるとともに、地区間のネットワークを強め、利便性の高い都市を目指

	<p>していくという方針を示しています。</p> <p>4. 事故、犯罪の防止、医療の推進などについては、都市計画と別の領域での取り組みとなりますが、都市計画の面でかわりが出てきた場合には、担当セクションと連携を図りながら取り組みを進めていきたいと考えています。防災に関しては、災害の起きにくく、また、災害発生時には、避難、復旧に迅速に対応できる都市づくりを進めるとともに、防災に関する地区コミュニティの強化を促進するという方針を示しています。</p> <p>5. 「人が多く集まる場所や道路規模に応じてだれもが利用しやすく安全で快適な歩行者空間の確保を図る」また、歩行者・自転車道の環境整備として、「近隣市町や、地区を結ぶサイクリング・ネットワークを形成するとともに、沿道に休憩施設、広場などのレクリエーション施設を整備する」という基本方向を示しています。</p>
高齢者が多くなり、一人暮らしも多い。収入に応じ自由に入れる市営住宅があればいい。	<p>素案では、「高齢者、障がい者などが安心して快適に暮らせるよう住機能ニーズの変化を踏まえながら、福祉住宅や支援機能を備えた住宅の供給など、多様な住まい方が選択できる住宅地環境を形成します」とする基本的な方向を示しています。また、市では現在、「住宅マスタープラン」の策定を進めており、市営住宅のあり方等についても検討される予定です。</p>
公園には、自転車や車椅子が乗れる道路があると良い。	<p>身近な公園については、「利用者である地区住民の参加を得ながら公園のあり方を検討する」としており、公園の整備、再整備については地区住民の意見を聴きながら協働で行なっていく方向性を示しています。</p>

北広島団地地区

意見等の概要	都市計画マスタープラン素案における考え方など
WS会議で出された高齢化対策である若い世帯の流入や容積率のルールづくりが盛り込まれているが、現実的な対応策が必要。	<p>都市マスは、都市計画の基本的な方針を示すものですが、実現に向けては長い期間を要する内容も含まれており、高齢化対策については、さらに具体的な方法について、専門家や市民を交えての検討や都市計画以外の領域の部局と連携を図りながらの取り組みが必要と考えています。なお、容積率の緩和については、平成16年度の用途の見直し作業に合わせ取り組む予定としております。</p>
構想は抽象的だ。もう少し具体化してほしい。駅周辺への住み替えによる、周辺の住宅地の過疎化をどうするのか。生活利便性や公園の	<p>都市マスは、長期的な観点のもとに都市計画として取り組むべき都市づくりの基本的な方針を示すもので、個々の都市施設整備など具体的な都市計画を</p>

<p>あり方、生活スタイルを考えなければ。 少なくとも駅前西口公園は、人が集まり楽しむ空間にしたい。</p>	<p>進めるためのガイドライン的な性格をもつものなのでご理解ください。 素案では、「コミュニティの維持を図るため、2世帯住宅の立地誘導や子育て世代への住み替え誘導を図る」としてはいますが、さらに具体的な方法については、専門家や市民を交えて十分検討をしていく必要があると考えます。 地区ごとに日常生活に必要な機能を充実させるとともに、人や情報が集まる核づくりを進め生活利便性の向上を図るという方向性を示しており、また、公園については（駅前西口公園を含みます）「利用者である地区住民の参加を得ながら公園のあり方を検討する」との考え方を示しています。</p>
--	--

東部地区

意見等の概要	都市計画マスタープラン素案における考え方など
<p>JR北広島駅周辺のまちづくりとして稲穂町東の南側を提案する。</p>	<p>現在では、本市における人口の伸びも緩やかになっており、今後はこれまでのように新たな市街地をどんどん外へと広げていくような状況にはないと考えます。現市街化区域の中にも利用されていない土地が多くあるため、都市マスでは、まずこれらの有効活用、効率的活用などを図っていく都市づくりを進めるという基本的な方向性を示しています。ご意見の場所は、駅に近いので利便性が高い場所ですが、新たな市街地の拡大については、今後の人口の推移、周辺の環境などを考慮し、過大とならない適切な範囲で、土地利用を検討していく必要があると考えています。</p>
<p>地元商店街の振興が望まれる。また、各地区へのアクセスや道道江別恵庭線のバイパス化の課題がある。</p>	<p>「高齢社会に対応し、住宅の身近なところで日常生活に必要なものを入手できるように、人や情報が集まり、にぎやかさが感じられる地区の中心地となる商業地を形成」とする方向性を示しています。また、「各地区を結ぶ自動車道路、歩行者・自転車道路、公共交通の充実など交通網の整備を進める」、「道道江別恵庭線は、沿道に立地する教育施設や住宅地の環境・安全性を向上するため、バイパス化を検討する」という考え方を示しています。</p>
<p>子育て環境の整備や高齢者に対する見守り（食事の宅配、安否の確認、除雪など）は、ちょボラを活用したい。子どもが親元近くに帰り生活できる住宅地環境を望む。</p>	<p>子育て支援、高齢者サービス等については都市マスの領域ではありませんが、住宅地環境として、育児や高齢者生活の支援機能を備えた住宅供給の促進など、多様な住まい方ができる住宅地環境の形成を図るという方向性を示しています。</p>
<p>道道江別恵庭線の主要交差点に右折レーン設置。</p>	<p>現在の道道江別恵庭線は、道路幅員が十分ではないため、歩道の幅員も狭く、安全性が問題となって</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・輪厚川下流に建設予定の防災ステーションは、美咲き野までを緑地等として整備したい。 ・街路樹の植え替えや街路灯、防犯灯の統一化したい。 ・東共栄、美咲き野周辺に大きな公園緑地がないので整備したい。 ・国道274号沿道を商業地として利用したい。 	<p>いますが、沿道には建築物も多く道路幅が難しい状況にあります。従って、現在の幅員では右折車線を設けるのは難しいと考えており、今後の交通量の分析を進めながら、バイパス化を含めた検討をするという方向性を示しています。</p> <p>輪厚川については、「協働で花や木による植栽を行い、河川環境を保全しながらうおいのある親水空間を整備します」、また身近な公園の整備については、「住民が容易に利用できる範囲に、街区公園、近隣公園、地区公園を適切に配置します」との方向性を示しています。</p> <p>現在、市街化区域内の国道274号沿道については工業団地を除き、一定規模の商業施設が立地できる用途地域を指定していますが、進出していない状況です。ご意見が市街化調整区域を指しているのであれば、郊外への商業施設の誘致は、総合的なまちづくりの観点から、他の商業地への影響、周囲の環境などを考慮し、慎重に検討する必要があると考えます。</p>
<p>レクの森に宿泊と学習ができる施設がほしい。</p>	<p>「市街地に近い森林や樹林地は、豊かな自然を生かした自然観察や野生生物とのふれあいの場として活用」とする考え方を示しています。レクの森には、現在、自然体験学習等に利用できる研修棟がありますが、宿泊施設はありません。市の財政状況から宿泊施設は、建設・管理・運営面で難しいと考えています。</p>
<p>道道江別恵庭線に道の駅ができると良い。</p>	<p>「道の駅」を都市計画上の都市施設として考えていくかという問題がありますが、幹線道路網に恵まれた立地条件の優位性を生かした交流機能等の整備については、都市計画にこだわらず、まちづくりの一環として検討される内容だと考えます。</p>

大曲地区

意見等の概要	都市計画マスタープラン素案における考え方など
<p>大曲会館とコミュニティセンターを結ぶ交通が不便！市内循環バスを実現したい。</p>	<p>市内循環バスについては、事業の採算性など難しい問題がありますが、市内移動の利便性向上や移動手段のあり方等については、避けられない課題であり、素案では、公共交通の充実として地区間を結ぶ交通および地区内の主要施設をネットワークする交通のあり方について検討することとしています。</p>
<p>生産物の販売促進のため京浜関西との交流を深めるべき。</p>	<p>作物等の生産・流通や他都市との広域交流については、都市計画と別の領域での取り組みとなりますが、都市計画の面でかわりが出てきた場合には、担当セクションと連携を図りながら取り組みを進め</p>

	ていきたいと考えています。
<p>大曲は、札幌へ向いてしまいがち。</p> <p>大曲はすべてが札幌と深い関係を有している。将来どうつながるかが問題だ。</p>	<p>大曲や西の里地区と隣接している札幌市は、高次の都市機能を有しており、この機能を上手に活用していくことは必要と考えています。一方、都市マスタープラン策定に際して行なった市民意向調査では、「同じ都市に住んでいる市民として、他の地区の人たちと交流を深めたい」という声も多く聴かれています。それぞれの地区の立地的な優位性も含め、個性を高めつつ、一つの都市として結びつきを強めていく必要があると考えます。</p>
<p>大曲会館やコミュニティセンターを中心とし、緑の豊かで癒されるまちづくりを望む。</p>	<p>素案では、大曲会館とコミュニティセンターおよびこれらをつなぐ地域商業地を合わせて、人や情報が集まる地区の中心地を形成するという方針を示しており、緑の豊かさや住みよさの感じられる地区づくりを目指しています。</p>

西の里地区

意見等の概要	都市計画マスタープラン素案における考え方など
<p>西の里団地1号線の歩道が狭い。拡幅が実現可能でなければ、歩行者・自転車道路と位置づけは反対。</p> <p>東1、2丁目、北1～5丁目を「暮らしのみちゾーン」としての整備を。</p>	<p>西の里地区では、「区内を徒歩や自転車で楽しく移動できる道路ネットワークの形成」とする地区づくりの目標を示しています。西の里団地1号線については、部分的に現在の施設帯（歩道）幅が狭いのが実情で、周囲に住宅があって拡幅も難しいため、通過交通の問題とあわせて、一方通行化、片歩道化など、住民を中心とした十分な検討や協力が必要と考えます。</p>

5 . 北広島市都市計画マスタープランの情報提供

北広島市都市計画マスタープランの市民参加を行なうにあたり、以下の方法で市民参加への協力や公募、ワークショップの様子や意見、素案の概要などについての情報提供を行ないました。

1 . 広報紙

平成13年5月1日号	市民都市づくりアンケート協力をお願い
平成13年6月1日号	都市マスの説明とワークショップメンバー募集
平成13年12月1日号	都市マス策定委員の公募
平成14年1月1日号	アンケート調査の結果のお知らせ
平成14年2月1日号	都市マスと市民参加（地域別WSメンバー募集）
平成14年8月1日号	地域別ワークショップの様子の紹介
平成14年10月1日号	地域別ワークショップの様子の紹介と参加者の感想
平成15年4月1日号	策定委員会の様子とリーフレットのお知らせ
平成15年10月1日号	地域別構想素案の概要と意見募集

2 . 市ホームページ

平成13年5月1日より掲載 随時更新

ワークショップニュース、リーフレットの内容などについても掲載

3 . ワークショップニュース

町内会を通じて班ごとに回覧	約1,600部作成（各出張所で閲覧可）
第1号 平成13年9月14日	第1回WSの様子と意見紹介
第2号 平成13年10月15日	第2回WSの様子と意見紹介
第3号 平成13年12月1日	都市づくりアンケートの結果報告
第4号 平成14年3月1日	第3回WSの様子と意見紹介（地域別WSメンバー募集）
第5号 平成14年7月1日	第1回地域別WSの様子と意見紹介
第6号 平成14年9月2日	第2回地域別WSの様子と意見紹介
第7号 平成14年12月1日	第3、4回地域別WSの様子と住民提案
第8号 平成15年8月1日	全体構想素案に対して寄せられた意見

4 . リーフレット

都市マス全体構想素案の概要の公表と意見募集

平成15年4月1日号広報紙に折込み全戸配布

22,700部配布